

分野	授業科目名	単位数	時間数	配当時期	担当教師
基礎	心理学	1	30	1年次前期	非常勤講師

テキスト(発行所)	なし
-----------	----

学習のねらい	自己と他者を理解するための基礎知識として、こころの発達や働きについて知る。それをもとに、人と関係を築く際、こころの領域に目を向ける姿勢を養う。
学習目標	1. こころの発達やこころの現象について理解する。 2. 自己と他者のあり方、および対人関係の中で生じるこころの動きについて知る。 3. こころを眼差す姿勢をいかに看護へ活かすか考える。

学習スケジュール		
回数	主 題	履修形態 他
1回	心理学について 対人認知と印象形成について	講義
2回	感覚と知覚 記憶	
3回	学習の仕組み、利用 学習理論の応用	
4回	動機づけについて 欲求を充足すること	
5回	円滑なコミュニケーションに向けて	
6回	発達心理学① 乳幼児から青年までの発達	
7回	発達心理学② 青年期・成人期の発達:精神分析より	
8回	パーソナリティ理論 心理検査について(前編)	
9回	心理検査について(後編)	
10回	ストレスとその影響 ストレスへの対処に向けて	
11回	こころの病、障害について	
12回	臨床心理学とは 心理療法・カウンセリング	
13回	深層心理学	
14回	心理療法の科学性 転移/非因果律的思考	
15回	看護と心理臨床	

単位認定の方法	1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること。 2. 終講後のレポートで60点以上を合格とする。
受講上のアドバイス	みなさんは普段、人の”こころ”についてどれぐらい意識していますか？この授業では心理学を幅広く学び、こころに向き合おうとする際に役立つ知識や姿勢を身に付けていくことを目指します。心理学、というとなかなか取っつきにくく思われるかもしれませんが、こころについて考えるときの出発点は、みなさんが普段感じることや体験することです。それらを大事にしなが、授業を通して一緒にこころについて考えてみましょう。 この授業では心理学の基礎的な知識を学ぶとともに、こころの現象を考える際のひとつの視点として心理学の知見を参照できるようになってもらえればと思います。そして授業で学んだことを、これから自分自身や看護という仕事について考え、さらに患者さんに向き合っていく過程での手掛かりとしてください。